

平成 28 年度環境・食育校種間連携パートナーズクール事業



森の京都

## 里山 ～人と森の調和と共生～

平成28年6月14日（火）府立須知高等学校にて、平成28年度第2回環境・食育パートナーズクール事業を実施しました。

今回は「里山について学ぶ」という観点から、最初に和知中学校1年生、須知高校2年生、京都大学大学院生が前回散策した作業道と、昨年度の事業で瑞穂中学校の生徒たちが行った竹林の伐採跡を散策しました。昨年度の事業で竹林を伐採した後、伐採跡の周囲を網で囲った部分と囲まない部分とに分けて獣害の程度がどれくらい異なるのかの説明を須知高校の先生から受ける等、中学生たちは人の手を入れて里山を管理することの大切さを肌で感じていました。

その後、ナラ枯れの被害で伐採された木をチェーンソーと斧を使って切断する薪作り体験をしました。中学生たちは、須知高校の先生からチェーンソーと斧の使い方の説明を聞いた後、各グループで高校生からアドバイスを受けながら作業を進めました。チェーンソーも斧も初めて使う中学生がほとんどで、最初は慣れない作業で悪戦苦闘していましたが、次第にコツをつかんで作業を楽しむ様子も見られ、中にはアドバイスをしていた高校生よりも上手く薪割りができる生徒もいました。

薪作り体験が終わった後は、京都大学院生から「里山の秘密」と題した講義で里山の意義について学んだり、須知高校生の試作品である「梅ピザ」を皆で試食したりして、充実した半日を過ごしました。

中学生からは「チェーンソーで木を切ったり薪割りをしたのは初めてで楽しかったです。」という感想が出され、一方、須知高校生からは、「人に教えることの難しさが分かりました。」と振り返っていました。

次回（最終回）の取組は、10月11日（火）に予定されています。

